

## 市長とのおしゃべり会 会議録

日 時	令和8年1月24日（土）14時～15時	
場 所	あいくる 会議室1	
出席者	人数	2人
	碧南市	小池市長、こども課長
テーマ	子育て支援（子育て支援の輪を広げよう）	

### 要旨

碧南市の子育て施策等について市長から説明をし、意見交換を行った。

主な意見は以下の通り

- ・ファミリー・サポート・センターの会員数はどれくらいいるのか？  
→依頼会員（依頼する人）が174名、協力会員（依頼を受ける人）が38名。
- ・町医者の子小児科は混んでいる印象。子どもの医療に特化した病院の誘致や、医療村のようにそこに行けば大丈夫という場所が地域ごとにあると良いのではないか。
- ・子どもの人数は減っているはずなのに、保育園の倍率が高い。
- ・プチ保育は利用希望者が多く利用しづらかった。利用対象や申し込み方法を見ていると、本当に必要な人が利用できているか疑問に感じるため、改善されると良い。
- ・他市に比べて公立幼稚園が多い印象。ただ幼稚園に通う子は少ないと感じている。園児はいなくても先生はいるという状態なのであれば、先生を保育園に異動したり、幼稚園を保育園にするのも良いのではないか？  
→全国的に公立幼稚園は減ってきている。最近では民間園、こども園へ移行する流れがある。時間はかかるが少しずつ形を変えていきたい。
- ・公立幼稚園でも学習面により力を入れると良い。また、建物が古く入所したいと思わないのではないか。  
→公立のため市の予算で修繕をするが、財政状況により難しい。

その他に、以下の意見も出された。

- ・先日他市で100人カイギ（地域の価値や魅力を創出し、まちおこしを目的とするコミュニティ）に参加した。魅力を作ることができると碧南市に興味を持ってもらえたり、住む人も出てくるのではないか。若い世代や事業をしている若い人、他市の人を巻き込んでコミュニティを広げることで、考え方も広がると思う。そういうパワー（市民活動）が碧南は弱いと感じる。パワーを持った人を集めて活動できると今ある施策もより魅力をアピールできるのではないか。
- ・地域柄閉鎖的な人が多いと感じるため、外部から人を呼び込むことが必要だと思う。